はじめに

本講義は日本の大学受験における最難関「京都大学」を志望する受験生のためのものです。ですから、講義内容も日本で最高峰のものを用意しました。当然、内容も問題も難しいものになっています。しかし、一切妥協することなく最難関大学に合格する力をつけられるものになったと自負しています。ぜひこの講義を受けて、最高の学力を養成し、最難関大学に合格してください。

本講義の現代文の考え方

本講義は文章を従来の「意味論」だけでなく「統語論」の側面からも解説していきます。もちろん文章には「意味」があります。しかし、「意味」というのは読者の側に生成される主観的なものでもあります。ですから、「意味」ばかりを追求していくと、「読者によって意味が異なる」ということが起こり得るのです。

一方、大学入試の問題はたとえ最高峰の記述問題であろうとも、「読者によって解答が異なる」ということはありません。そこには客観的に正しい答えがあって、その答えや答えに至るプロセスがいかなるものかによって点数がつけられます。であれば、言語の客観性である「統語論」的側面を無視することはできません。言語の「統語論」的側面とは以下の三つです。

① 文法
② 構文
③ 論理

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

たとえば、①文法ですが、筆者によって副助詞の「も」の使い方が異なるということはあり得ません。また、読者によって副助詞の「も」の機能が異なって受け取られるということもあり得ません。副助詞の「も」は、たとえどんな筆者であろうと、どんな読者であろうと、客観的に機能します。

また、②構文ですが、本講義では「主語―述語」の関係や、「修飾語―被修飾語」の関係や、「接続語―被接続語」の関係からなる文構造のことを構文と呼びます。この構文に関しても、文法と同様のことが言えます。読者によって「文の主語―述語」が異なる」ということはありません。構文もまた、どんな筆者であろうと、どんな読者であろうと、客観的に機能します。

最後に、③論理ですが、ここが本講義の最大の特徴です。①文法や②構文は「日本語」という言葉のルールです。それに対し、③論理は「日本語」だけにとどまりません。あらゆる言語に及ぶ最も普遍的なルールといってよいでしょう。数式が世界共通の言葉であるように、論理もまた世界共通の普遍的ルールなのです。本講義では論理を以下の「４つの言葉のルール」と「４つの言葉の使い方」とします。

- **「でない」という否定**
- **「かつ」という連言**
- **「または」という選言**
- **「ならば」という条件法**

以上の４つの言葉のルールを駆使して筆者は文を書きます。ですから、読者も４つの言葉のルールを理解して読まなければなりません。本講義ではその「ルール」と「方法」を伝えます。

柳生　好之

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

受講の際の注意点　効果的な講義の利用法

最高の講義を用意しましたが、ただ映像を見るだけでは力はつきません。効果的に学習するためにも、この利用法を実践してください。

Ⅰ　予習について

まず一度本文を通読し、「要旨把握」と「意味段落分け」をしてください。そして次に、「設問」や「傍線部」を確認してから、「解答の根拠」を本文中に求めてください。最後に、本文中の解答の根拠をもとにして「記述解答」を書いてください。

Ｐａｒｔ１は「制限時間なし」でよいのですべての問題に解答して下さい。その際、「解答の根拠とした文」に線を引いておいてください。できれば、「その部分を解答の根拠とした理由」をメモ欄に書いておいてください。

この作業を予習の段階でしておくことで、講義に集中できる仕組みになっています。

Ｐａｒｔ２は制限時間内に解いてください。場合によっては一部の問題を「捨て問」と判断するのも良いでしょう。制限時間内で合格点をとる練習をします。

予習ポイント　問題を解く。解答の根拠をメモしておく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅱ　講義について

映像授業だからといって安易に止めたりしないでください。集中力を維持するトレーニングも兼ねていますので、必ずチャプターを通して受講してください。

そして、

映像授業を受講している間は、メモを取らないでください。

ただ見たことをノートに写す、あるいは聞いたことをその場でメモに書くというのは、「頭の中には何も残っていない」状態になりやすいのです。ですから、一つのチャプターが終わった後に、講義を思い出しながら線を引いたりノートに説明や図を書いたりしてください。あくまでも「一度頭の中に置いた」上で、「頭の中から取り出す」という作業を怠らないでください。この作業が「文章を読み、解答を書く」という現代文の解答プロセスのトレーニングになるのです。

講義ポイント	講義中はメモを取らない。説明や図は講義後ノートに書く。

Ⅲ　復習について

よく「現代文は復習しなくてもよい」という意見を聞きます。しかし、そもそも「復習しなくてよい」なら、復習して覚えるべきポイントがない「授業」も受ける必要がないでしょう。受験生の貴重な時間をいただくわけですから、本講義は「復習

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ポイント」も用意してあります。

Ｐａｒｔ１の復習

まず、「解法」をしっかり覚えてください。これは現代文を分析する上で必要になる考え方です。現代文は「全く同じ文章」は出題されませんが、ポイントが同じである「類題」は必ず出題されます。その点は数学と同様だと考えてください。

Ｐａｒｔ２の復習

各設問のポイントを講義で解説します。それを頼りに、定着していなかったポイントの再確認をしてください。そして、もう一度同じ問題を解き、解答を書き直してください。解答の書き直しは現代文の力を上げるために必須の作業です。

復習ポイント　**ポイントを踏まえ類題を解く。解答を書き直す。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

京都大学現代文対策講座　目次

Part1　論理構造と設問の分析編

第一講　傍線部内容説明問題　2011年　理系第二問……p.8
第二講　傍線部理由説明問題　2010年　文系第二問……p.20
第三講　論理構造分析①「否定」「差異」「類似」　2007年　文系第二問……p.38
第四講　論理構造分析②「条件法」「連言」「選言」　2001年　前期第一問……p.54
第五講　論理構造分析③「心情」「因果関係」　2002年　前期第一問……p.66

Part2　最新過去問研究編

第六講　2014年　理系第二問……p.82
第七講　2014年　文系第一問……p.88
第八講　2015年　理系第二問……p.98
第九講　2015年　文系第二問……p.106
第十講　2015年　文系第一問……p.114

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ｐａｒｔ１　論理構造と設問の分析編

このＰａｒｔ１では基本的な「読み方」と「解き方」を学びます。過去１５年分の京大の過去問の中から厳選した問題を解くことで、効率的に京大が求める「読み方」と「解き方」を身につけましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　傍線部内容説明問題

「傍線部内容説明問題」とは京大現代文において、最もオーソドックスな設問です。そしてこれから始まる「各設問別解法」の土台となる「解法」なので、しっかりとマスターしましょう。

その設問形式は次の通り、

> **傍線部～とあるが、どういうことか　説明せよ。**
> **or**
> **どういう意味か**

というものです。この問題に対して常に一定のフォームでアプローチするように心がけましょう。それが「設問解法」であり、現代文で常に高得点をとるための王道です。

では、どのようにアプローチするかというと、次の通りです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

傍線部説明問題解法

―「どういうことか」の解答プロセス

①「文構造」を分析する。
・文法的構造
・論理的構造

↓

②「ポイント」を把握する。
・指示語
・比喩表現
・個人言語

↓

③「解答の根拠」となる文と対応させる。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※①「文構造」の分析について

★文法的構造

・主語（主部）―述語（述部）
・修飾語（修飾部）―被修飾語（被修飾部）や目的語（目的格）や補語（補格）など
・接続助詞や連用中止法
・倒置や省略

★論理的構造

・否定　・差異（変化）
・連言　・類似（アナロジー）
・選言　・逆説
・条件法　・因果

設問を解く際には、まずは傍線部（または傍線部を含む一文）の統語論的「構造」を分析することからスタートします。この構造を正確に分析して、なるべく元の構造を生かして、解答を構成するためです。ただし、日本語の慣習的統語規則を鑑みて、受動態から能動態に変換するなど元の構文を変形する場合もあります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※②「ポイント」になる語句について

★指示語（代名詞）

㊈これ、この、このような、このように、それ、その、そのような、そのように　など

㊉前者、後者、両者、右の、彼　など

★比喩表現　＝　直喩、暗喩、メタファー、レトリック　など

★個人言語　＝　筆者が一般的な意味とは異なる特殊な意味で使っている言葉、学術（専門）用語

※③「解答の根拠」となる部分との対応について

★同値関係

★対立関係

★因果関係

★包摂関係（抽象と具体の関係）

以上の関係がある部分と対応させせます。

このような関係で対応した部分が、記述解答を書く際の「解答の根拠」となります。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「一般化」とは

個別的な違いを捨てて共通のものを残すことによって広く通じる概念・法則をつくること。

「一般化」とは個別的、具体的に見れば異なる事象に共通点を見いだして、まだ見たことのない事象にも応用可能な本質的原理を作り出す作業です。この作業はあらゆる学問（科学）の基本であるため、京大はその力その姿勢が受験生にあるのかを見たいのです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（次ページより問題演習）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「どういうことか」を攻略せよ！

第一講　傍線部内容説明問題　２０１１年理系第二問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

書かれる言葉は、話される言葉と違って、実は時代や社会によってその使命や性格を非常に異にしている。昔のことは今は言わない。現代においては、それはたいていの場合目で黙読されるために印刷される運命にある言葉であり、少なくともそれを理想的境地として目差している。このように印刷されるということは、書かれる言葉にとって決して軽視されることのできない意義をもっている。アランはそこに近代散文の主要特徴をさえ見ているくらいだ。彼は言う。「散文の特性は、先ず第一に印刷された紙の上に、その純粋な抽象の形態において現われ、何ら作家の身体の動きのあとかたをとどめぬことにある。」彼に言わせると、肉筆で書かれたものは、続け字や略字のためにその行間になお何か身振り的なものや舞踏的なものを残しているが、印刷はそれを払拭して、抽象的に均一化するのである。

しかし書くということには、彼が指摘しているようなかかる表面的な身体性ばかりでなく、（1）<u>もっと深いところに根差している身体的なもの</u>も

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

現われており、そのものの払拭も印刷の役目の一つになっていないであろうか。というのは、作家の表現の努力そのもののあとかたであるところの、消し、直し、書き足し等が、書く行為には多少とも必ず随伴しているからである。しかしかかる書く工作のあとをありありと示している大作家の「原稿」を写真版にして忠実に示したからと言って、彼の傑作の一頁がより美しいものに見えることになるであろうか。必ずやその効果は逆であろう。

　ここに話される言葉と書かれる言葉との第一の相違点がある。話される言葉は本来即興的にほとんど猶予なしに産出され、産出されるままに多少の訂正と彫琢とを受けながら、しかも多くは未完成にとどまったままその使命を終えてしまうものであるのにひきかえ、書かれる言葉は一定の時間をかけられて構成され、再構成され、とにかく仕上げを完うされたものとして、しかる後にその使命を果たさんがためにおもむろに提出されるのが普通である。前者はその場限りの試作、後者は多少とも持続に運命づけられた完成品。前者には関係者は現場のごたごたの中で立ち会い、後者には関心者は工場を離れた出来上がった品物だけとして見参する。

　これらは極めて卑近な観察にすぎないが、しかしそれからだけでもありのままの話される言葉と一定の目標と境地とを目差さねば用をなさぬ書かれる言葉とが、いかに違って来なければならぬかは明らかであろう。かく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission 「どういうことか」を攻略せよ！

て話される日常の言葉とその組立てとがたとい文章の前提ではあっても、文章はどんな初歩的なものでも例外なく何らかの思想の絆によって全体が貫かれ、引き締められ、この全体的連関の見通しにおいて、絶えず後ろを振りかえり、且つ前を見してそこから余計なもの、冗漫なもの、重複的なものを取り除くという心構えと作業を欠かすわけに行かないのである。ヴァレリーの次の言葉は、この原始的な基礎工作が、文章の第一歩であることを言おうとしているのであろう。

「『いやあ。』――『つまり。』――『*ネ・ス・パ？』等々。こういったような模索の言葉はすべて書かれた言葉から消されてしまうのだが、これが文章の最初の行為である。」

(2) かかる何でもないような浄化の仕事が、既に書かれる言葉を話される言葉から区別させているのであるが、そのような工作はやがて曖昧な言い廻しや陳腐な月並句等々を除去してゆき、ついには耳にうったえるようなものさえも慎重に回避するに至るのである。というのは、アランの言ったように、「眼のためにつくられたこの芸術（散文）においては、すべて耳にうったえるものは下品になる」から。演説口調の、調子づいた、それに反復句の多い文章が、洗練された散文読者にとって我慢のならぬ悪趣味として不快感を催さしめる事実を我々はしばしば見てきているのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

（林達夫「文章について」より）

注（＊）
ネ・ス・パ？＝フランス語の付加疑問文。「〜ですよね」という念押しの際に用いる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）はどういうことか、わかりやすく説明せよ。

問二　傍線部（2）はどういうことか、「書かれる言葉」の特質をふまえて説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　傍線部内容説明問題　講義のまとめ

「どういうことか」の問題とは

↓

①　文構造（①、②）の分析ができているか

②　③、④、⑤を文脈から正確に理解し、かつ、誰にでもわかるように表現できるか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

テキスト解答・解説

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　傍線部内容説明問題

２０１１年前期理系第二問　林達夫「文章について」

要旨

　書かれる言葉は話される言葉と違って、時代や社会によってその使命や性格を異にしている。現代は書かれる言葉は印刷されるものである。よって、書かれる言葉は、即興的に産出され、未完成にとどまる話される言葉とは異なり、一定の時間をかけられて構成され、仕上げを完うされたものとなる。文章には全体との関連において余計なものを取り除く作業が不可欠であるが、その作業により、耳にうったえるものさえも排除してゆく。

解答

問一

単に作家の身体的運動を残している肉筆であるというよりも深い、精神において作家が表現を工夫する努力をすることによって、作家が身体の一部である手を使って紙の上に物理的に残した推敲の痕跡。

解答ポイント

① 単に作家の身体的運動を残している肉筆であるというよりも深い
② 精神において作家が表現を工夫する努力をすること
③ 作家が身体の一部である手を使って紙の上に物理的に残した推敲の痕跡

問二（構文そのまま）

文章を書く際に思想的一貫性に基づいて全体を構成し、全体との連関において余計な部分、冗漫な部分、重複的な部分を取り除く推敲の基礎段階が、既に一定の時間をかけて構成され、再構成され、完成品になる書き言葉を、即興的に生み出され、多少訂正されながらも未完成にとどまる話し言葉と区別させているということ。

問二　別解（構文変更）

文章を書く際に思想的一貫性に基づいて全体を構成し、全体との連関において余計な部分、冗漫な部分、重複的な部分を取り除く推敲の基礎段階からして、一定の時間をかけて構成

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

され、再構成され、完成品になる書き言葉は、即興的に生み出され、多少訂正されながらも未完成にとどまる話し言葉とは異なるものとなっているということ。

解答ポイント

① 文章を書く際に思想的一貫性に基づいて全体を構成し、全体との連関において余計な部分、冗漫な部分、重複的な部分を取り除く推敲の基礎段階

② 既に一定の時間をかけて構成され、再構成され、完成品になる書き言葉

③ 即興的に生み出され、多少訂正されながらも未完成にとどまる話し言葉

④ ①が②と③を区別させている

解説

問一　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「もっと」という比較の言葉、②「深いところに根差している」という比喩表現、③「身体的なもの」という筆者特有の用語がポイントであることがわかる。三つのポイントを説明する根拠を本文に求める。

まず①「もっと」という比較の言葉であるが、傍線部を含む一文に「彼が指摘しているようなかかる表面的な身体性ばかりでなく」とあり、彼（＝アラン）の指摘する「身体性」と筆者の述べる「身体的なもの」が比較されているとわかる。であれば、「かかる表面的な身体性よりももっと」と説明すればよい。「かかる表面的な身体性」の「かかる」は指示語であるから、指示内容を第一段落に求める。すると、「肉筆で書かれたものは、続け字や略字のためにその行間になお何か身振り的なものや舞踏的なものを残している」というのが指示内容として求められる。この点と傍線部の「身体的なもの」を比較するとよい。

次に②「深いところに根差している」であるが、「深いところ」とは作家の精神を喩えており、「根差している」とはその精神が原因となって現れるということを喩えている。すると、②を説明している箇所は傍線部の次の文の「作家の表現の努力そのもの」（＝作家の精神）の「あとかたであるところの」（＝精神の働きの結果、現れたもの）という部分が対応する。

最後に③「身体的なもの」であるが、②「作家の表現の努

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

力」の結果現れたものは何かを求める。すると、傍線部の次の文の「消し、直し、書き足し等」というのが、「作家の表現の努力」の結果現れたものであるとわかる。ただし、「〜等」とあることから具体例であることがわかるので、「推敲の痕跡」というように一般化する。そして、「身体的なもの」という部分の説明として、「身体である手を使って行う」という説明を加える。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「かかる何でもないような浄化の仕事が」という主語に指示語が使われている。また、②「書かれる言葉」③「話される言葉」と筆者特有の用語がポイントとなっている。そして④「書かれる言葉」と「話される言葉」との「区別」（＝差異）がポイントとなっている。この四つのポイントを説明する根拠を本文に求める。

まず①「かかる何でもないような浄化の仕事が」の指示内容を求める。直前の第五段落はヴァレリーの引用であるからさらに前の第四段落に指示内容を求める。すると「この原始的な基礎工作」とあり、この部分にも指示語が使われている。よって、さらに指示内容を求めると、「文章はどんな初歩的なものでも例外なく何らかの思想の絆によって全体が貫かれ、引き締められ、この全体的連関の見通しにおいて、絶えず後ろを振りかえり、且つ前を見してそこから余計なもの、冗漫なもの、重複的なものを取り除くという心構えと作業を欠かすわけに行かないのである」とあるので、この部分をまとめる。

次に②「書かれる言葉」（＝A）であるが、第三段落に「書かれる言葉は一定の時間をかけられて構成され、再構成され、とにかく仕上げを完うされたものとして、しかる後にその使命を果たさんがためにおもむろに提出される」とある。一方の③「話される言葉」（＝B）は、同段落に「話される言葉は本来即興的にほとんど猶予なしに産出され、産出されるままに多少の訂正と彫琢とを受けながら、しかも多くは未完成にとどまったままその使命を終えてしまうものである」と説明があるので、その部分をそれぞれまとめる。

最後に④「区別」（＝差異）であるが、AとBの説明で、「否定」の関係になっている部分に注目する。するとA「一定の時間をかけられて構成され、再構成され」「とにかく仕上げを完うされたもの」という部分と、B「即興的にほとんど猶予なしに産出され」「多くは未完成にとどまったまま」という部分が「否定」の関係になっているので、この部分を中心

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

に②と③をまとめる。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。